

ようこそ!まびふれあい公園へ

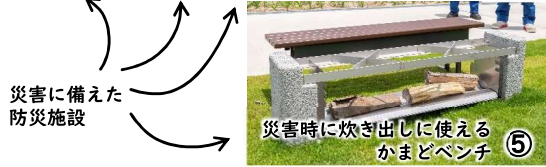
この公園は、平成30年7月豪雨災害からの復興のシンボルとして、地域の皆様のご協力をいただきながら整備した公園です。

平常時には、芝生広場や河川敷の広場のほか、桜並木や遊具などを整備した日常の憩いの場としての利用や、防災教育や様々なイベントの会場、サイクリングコースの拠点など、真備のにぎわい創出や魅力発信の場となる公園です。

災害時には、一時的な避難の場として約400台の車による避難やヘリポートとしても利用できるほか、防災備蓄倉庫や様々な防災施設も備えています。

子供から大人まで人々がふれあい、小田川や自然とふれあい、心と心がふれあう公園として、是非ご来園、ご活用ください。

「平常時と災害時の両面で活用でき、地域の発展にもつながる公園」



- ① じゆうひろば (河川敷)
- ② ソーラーWi-Fi
- ③ ソーラー照明
- ④ マンホールトイレ
- ⑤ かまどベンチ
- ⑥ じゃぶじゃぶひろば
- ⑦ あそびのひろば
- ⑧ 竹のゲート
- ⑨ 防災備蓄倉庫
- ⑩ まなびのへや
- ⑪ サイクリング施設

災害に備えた
防災施設

世界的建築家の隈研吾氏のデザインで、真備の山並みに調和した大屋根と真備らしい竹の意匠の建物

300人が1日避難できる備蓄品

被災・復興状況などの展示

サイクリングコース案内板

芝すべり台 ⑦

防災備蓄倉庫 ⑨

まなびのへや ⑧

⑨

⑩

サイクルスタンド ⑪

⑪